

No.

2023 年度 地理歴史 科 シラバス

山形県立長井高等学校

科目	歴史総合	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	1年次全クラス
使用教材	明解 歴史総合(帝国書院) ダイアログ歴史総合(第一学習社)						

目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を身につけ、課題を探究する活動を通して、広い視野にもち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。
----	---

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準 	ステップ3 基本事項・重要語句を用いて、近現代史の出来事やその背景を説明することができる。	現代の生活に反映されている事象を考察し、歴史上の出来事が現代社会と将来に結びつけることができる。	「地球市民」の一員としての自覚を持ち、問題解決の一助として、近現代史からの学びを活用することができる。
	ステップ2 近現代史の基本事項・重要語句を理解し、関連する事象と結びつけることができる。	「タテの歴史観」のみの考察から「ヨコの連関」に視点を広げ、共通性を表現することができる。	教科書のみならず副教材からも関連する資料を見いだし、与えられた課題に取り組むことができる。
	ステップ1 教科書本文に記されている基本事項・重要語句を理解することができる。	授業で説明されている内容の重要性を知り、年代順に伝えることができる。	担当者の指示や講義に耳を傾け、素早く反応することができる。
評価方法	授業時の観察 定期試験	授業時の観察 定期試験 課題レポート	授業に取り組む姿勢や意欲 授業ノートの取り組み ルーブリックでの自己評価

※この評価規準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA, B, Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつきます。

授業の形態、方法

授業プリント等を用いて事前学習に取り組んでから、講義・解説を挟み、グループワーク等によって主体的な学びを目指す授業形態となります。
---

担当者より

歴史は、日本史・世界史を問わず、人がその場所で生活していった証です。当時の人々が何を考え、何を求めて生きていたのかを想像してみましょう。人の気持ちを汲み取れるかどうか、興味・関心の度合いと理解度の違いを生むことになるでしょう。
---

学習計画

月	単元名	予定時数	学習の内容とねらい	実施時数
4	2部 近代化と私たち 1章 江戸時代の日本と結び付く世界	20 (5)	18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのかを理解する。 主に18世紀のアジアとその中の日本について学んでいくが、18世紀アジア諸国の間では様々な商品がやり取りされていたことを学ぶ。また、この時代には、ヨーロッパもアジアの交易ネットワークの中に入り込んできていることにも視野を広げる。	
5	2章 欧米諸国における近代化	(6)	欧米でおこった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのかを理解する。 主に18世紀後半から19世紀前半の欧米諸国について学ぶ。この頃から国王や特権階級の支配に対して人々が立ち上がり、それまでなかった権利を保障する仕組みを作り上げていくことに注目する。	
6	3章 近代化の進展と国民国家形成	(9)	近代化が進む中で、欧米諸国はどのような国家を形成していったのかを理解する。 主に19世紀後半の欧米諸国について学ぶ。この頃から欧米諸国が近代化を経験し、ヨーロッパのそれぞれの国で自分たちの国のあり方を模索していく様子に着目する。	
7	(前期中間試験) 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	13		
8		(5)	近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのかを理解する。 主に19世紀後半のアジア諸国について学ぶ。この頃から近代化を経験した欧米諸国がアジア各地に進出していき、それに対してアジア各地で様々な対応がなされることとなった様子に着目して学ぶ。	
9	5章 近代化が進む日本と東アジア	(8)	日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していたのかを理解する。 主に19世紀後半の日本と東アジアについて学ぶ。この頃から日本は欧米諸国との関係のあり方を大きく変化させていくことに着目する。	
10	(前期期末試験) 3部 国際秩序の変化や大衆化への問い 1章 第一次世界大戦と日本の対応	15 (7)	第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのかを理解する。 20世紀初頭に起こった第一次世界大戦について学ぶ。国民はどう関わり、国民の位置づけがどのように変化してくのかに着目する。	
11	2章 国際協調と大衆社会の広がり	(8)	欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったかを理解する。 戦間期とよばれる、1920年代を中心に学ぶ。この時代には、第一次世界大戦を反省して新たな国際秩序が形成され、大量生産や大量消費などの現在まで続く大衆社会も生まれてくる。その様子に注目して学ぶ。	
12	(後期中間試験) 3章 日本の行方と第二次世界大戦	17 (11)	大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのかを理解する。 世界恐慌から第二次世界大戦が終結するまでの流れを中心に学ぶ。戦争に至るまでの動きや戦争に対して当時の人々はどのように関わっていたのか、その様子に注目して学ぶ。	
1	第4章 再出発する世界と日本	(6)	第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したのかを理解する。 第二次世界大戦終結後から日本が独立を回復するまでの流れを中心に学ぶ。戦争を経て、どのような国際秩序や国際関係が形成されたのか、その中で日本はどのように変化したのか、その様子に注目して学ぶ。	
2	(後期期末試験)			
3				
合計時数		65		